

海外戦略

インフロニアグループ海外拠点

2025年度に三井住友建設が加わり、海外ネットワークは大きく広がりました。

2025年度実績

海外拠点 **30**
売上高 **864億円**

※グループ各社数値合算(日本基準)



戦略方向性

Strength 強み

- グローバルネットワークを支える海外拠点と多様な人材
- グループ各社の専門性を活かした総合力

Weakness 弱み

- 個社単体では人材・ノウハウが不足している

Opportunity 機会

- 新興国・資源国を中心としたインフラ需要の拡大

Threat 脅威

- 為替変動による収益の不確実性、カントリーリスク(政情不安・法制度変更・契約リスク)
- 現地企業との価格競争激化

ホールディングス体制を最大限に活用し、海外ネットワークや人材の相互活用、営業情報の共有を推進することで、各社の強みを生かしながらリスクを抑制し、市場拡大を図ります。

関連：Samsung C&T社とMOUを締結
<https://www.infrontier.com/jp/news-article/2026/07/01/1243.html>

> 2025年度の主な取り組み

三井住友建設

ODAによるフィリピンで初めてのマニラ首都圏地下鉄整備事業

マニラ国際空港と首都圏北部を結ぶフィリピン初の首都圏地下鉄整備事業(全長約27km、15駅)の103工区を施工中です。同工区は2つの地下駅舎と延長6.1kmのトンネル路線で4機のシールド機が同時に稼働しています。同事業は深刻な交通渋滞の解消、大気汚染や騒音等の健康被害の低減、経済損失の緩和を目的にJICAの支援により進められています。



ケソン市に位置するマニラ首都圏地下鉄事業CP103工区のキャンブアギナルド駅

地域経済を支えるハワイ銀行西大洋州本社の建設

1961年より地域経済を支えているハワイ銀行の西大洋州本社建設工事で、グアム島での40年以上の実績、信頼性が評価され、受注につながりました。想定外の地盤状況による工事の中断と第三国からの資材調達等の課題を克服し、発注者要求通りの工期内に無事故で完成しました。



ハワイ銀行西大洋州本社

グローバル人材の育成と登用

グローバル人材の育成を目的とした「HDC※1グローバル研修」や、実務的な「HDCローカル研修」などの多様な研修を実施しています。また、現地社員の管理職人材をMM※2、その支援役をOM※3として認定・登用することで、海外事業における人材育成、各拠点の自立とネットワークの強化に取り組んでいます。



グローバル教育

※1 Human development center ※2 マネジメントメンバー：所属拠点のトップ人材としてローカライゼーションを牽引する
※3 オペレーティングメンバー：管理職をサポートする相当の知識と能力を有する

前田製作所

北米最大級の建設機械展Conexpo 2026 への出展

7回目となる出展では、かにクレーンの新機種「MK3053C」のバッテリー仕様を含む、米国市場向け仕様のクレーンを出展しました。会期中は世界128か国から約14万人が来場し、実機デモンストレーションを通じて製品の特長や性能を直接説明した結果、出展機5台を完売・新規販売店候補を獲得することができました。



展示会の様子